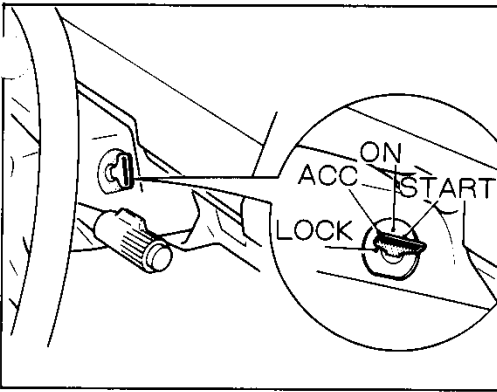


運転装置の使い方

エンジン・スイッチ	31
エンジンのかけ方	32
エンジンの止め方	34
マニュアル(ギヤ式)・トランスミッション	34
オートマチック・トランスミッション	34
パーキング(駐車)・ブレーキ	38



エンジン・スイッチ

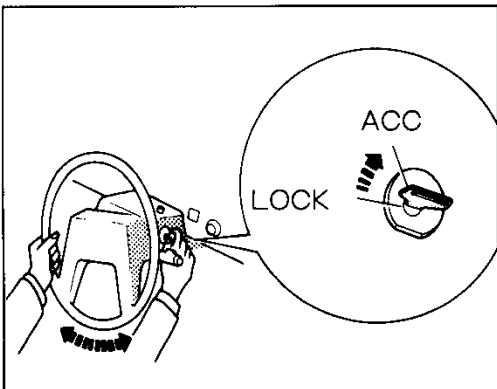
■各位置の働き

- LOCK …… キーを抜き差しできる位置。キーを抜くとハンドルがロックされます。
- ACC …… エンジン停止時、下記のものが使用できます。
ラジオ、カセット・ステレオ、シガレット・ライター、電動リモコン・ミラー
- ON …… エンジン回転中の位置。
- START …… エンジンを始動する位置。



ちょっと一言

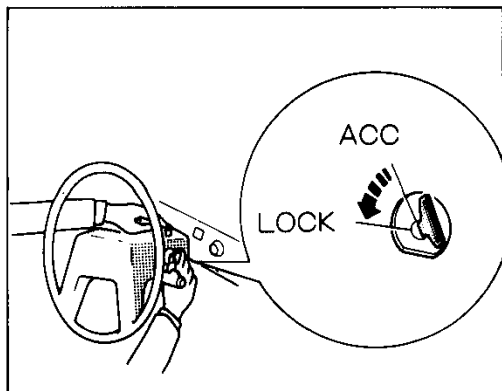
エンジンが始動したら手を離してください。
START位置のままにしているとエンジンを損傷するおそれがあります。
また、エンジンがかからないとき、15秒以上STARTの位置へ回したままにしないでください。バッテリーあがりを起こすおそれがあります。



▶ LOCKからACCに回すとき

キーが回りにくいときは、ハンドルを軽く左右に動かしながらキーを回します。

エンジン・スイッチ/エンジンのかけ方



▶ ACCからLOCKに回すとき

ボタンを押しながらキーを回します。キーを抜くとハンドルがロックされ車両盗難防止に役立ちます。



ちょっと一言

バッテリーあがりを起こさないために、次の事項を必ず守ってください。

1. エンジン停止時はスイッチをLOCKまたはACCにする。長時間停止する場合はキーを抜く。
2. エンジンを止めた状態（ONまたはACC）で、ラジオ、カセット・ステレオを長時間使用しない。

エンジンのかけ方

始動するときは必ずブレーキ・ペダルを踏むか、パーキング(駐車)・ブレーキをかけ、チェンジ・レバーは左図の位置です。

	マニュアル(ギヤ式)	オートマチック
ブレーキ		
チェンジレバー		



ターボの場合、始動直後は、エンジンの急激な空ふかし、または急加速をしないでください。ターボ機能を損なうおそれがあります。



以下の項目は次のようにお読みください。

エンジン始動時の要領は、搭載されているエンジンの型(排気量)によって少しずつ異なります。ここでは排気量ごとにエンジンの始動要領をまとめてありますので、グレードに関係なく、あなたのお車の排気量に該当する項だけをお読みください。その後は34ページの「エンジンの止め方」に移ってください。

1800CCの場合

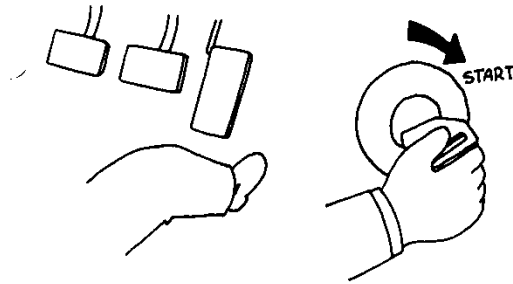
1S-Uエンジン搭載車

▶ エンジンが冷えているとき

1. アクセル・ペダルを次表にしたがって踏み込みます。

外気温	踏む回数
+5℃以上	軽く1回
+5℃～-10℃	いっぱい1～2回
-10℃以下	いっぱい2～3回

2. アクセル・ペダルから足を離し、エンジン・スイッチをSTARTの位置に回しエンジンを始動します。



3. しばらく暖機運転をします。

自動チョークが動いていますので、エンジン回転は徐々に高くなります。

4. 回転が高くなったときは、アクセル・ペダルを軽く踏んでから足を離し回転を下げてください。



注意!

1. エンジンが暖機されると自動的に回転は下がりますが、暖機運転中は回転が高くなりすぎることがあります。

2. 外気温によって異なりますが、約20℃のときであれば、エンジン始動後約30秒で、アクセル・ペダルを軽く踏んで離し、回転を下げてください。

▶ エンジンが暖まっているとき

アクセル・ペダルを半分程度踏み込んだままエンジンを始動してください。

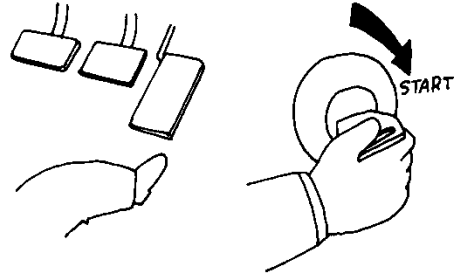


半分程度踏み込む

2000CCの場合

1G-EU, M-TEU(ターボ)エンジン搭載車

1. アクセル・ペダルから足を離したままエンジン・スイッチをSTARTの位置に回しエンジンを始動します。

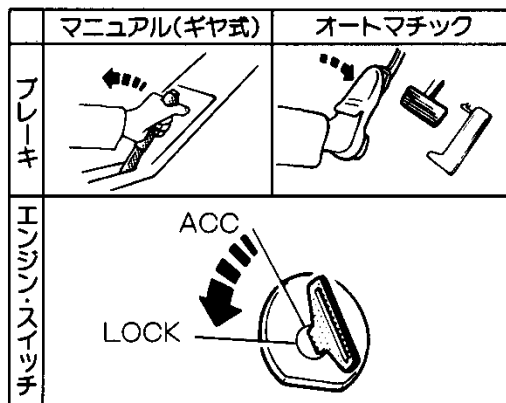


2. そのままで、しばらく暖機運転をします。暖機が完了すれば自動的にエンジン回転が下がります。



注意!

ターボ車は、ターボ機能を損なうおそれがありますので始動直後は、エンジンの急激な空ふかし、または急加速をしないでください。



エンジンの止め方

1. パーキング(駐車)・ブレーキをかけます。
2. エンジン・スイッチをACCまたはLOCKの位置にします。

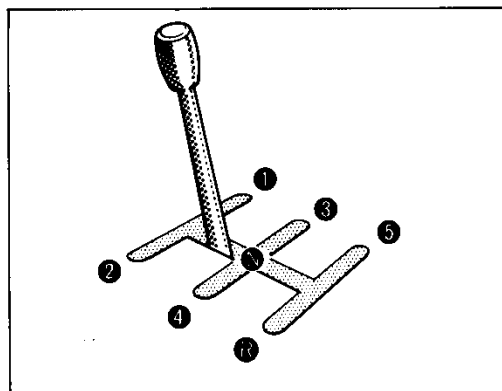


注意!

ターボ車は、ターボ機能を損なうおそれがありますので、高速走行、登坂路走行直後にエンジンを停止するときは、右の表にしたがって必ずアイドル運転をしたうえで停止してください。

〔参考〕エンジン停止前のアイドル運転時間

運 転 状 況		アイドル運転時間
市街地、郊外などの一般走行		必要なし
高速走行	約80km/h定速	約20秒
	約100km/h定速	約1分
山岳ドライブ・ウェイなどの急な登坂路走行およびレース場など100km/h以上の連続走行		約2分

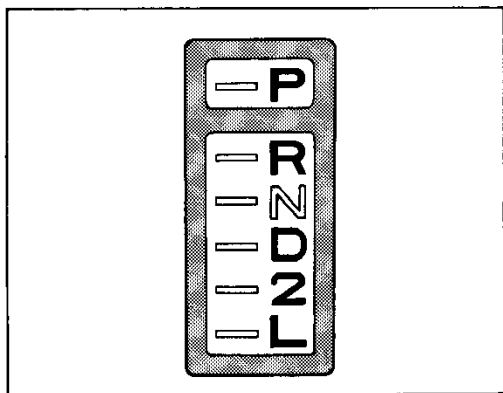


マニュアル(ギヤ式)・トランスミッション

1. ⑦はリバース(後退)を示します。
2. ③→⑥へは直接いれることはできません。いったん④にしてから⑥へ入れてください。

オートマチック・トランスミッション

IG-EUは、2ウェイ・オーバードライブ付き4速フル・オートマチック・トランスミッションです。これはオーバードライブ付き4速フル・オートマチック・トランスミッションに、ロック・アップ機構を加え、燃費を向上させたものです。取り扱い方法は、走行状態により自動的にロック・アップするので、オーバードライブ付き4速フル・オートマチック・トランスミッションと同じです。



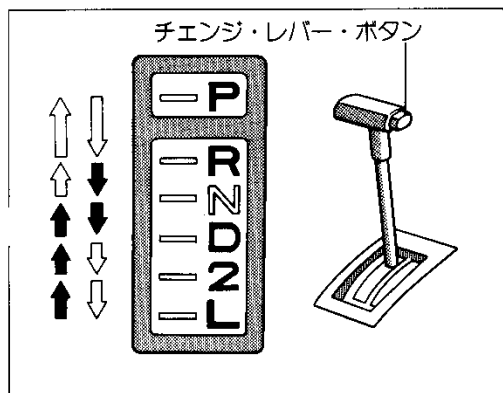
▶ 各位置の働き

- P パーキング(駐車).....駐車およびエンジン始動の位置
- R リバース(後退).....バックさせるときの位置
- N ニュートラル(中立).....この位置でもエンジンを始動することができますが、安全のためPの位置で始動してください。
- D ドライブ.....通常走行の位置
- 2 セカンド(2速).....エンジン・ブレーキが必要なとき使う位置
- L ロー(1速).....強力なエンジン・ブレーキが必要なとき使う位置



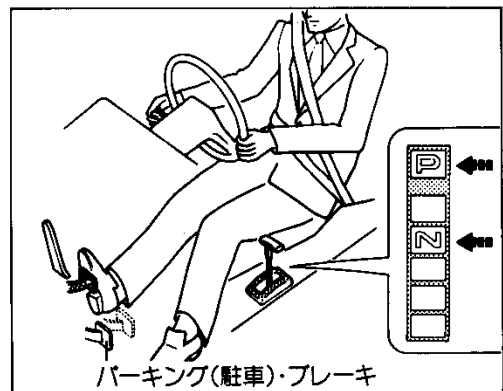
● ローは50km/h以上では使用しないでください。

ちょっと一言



▶ レバーの動かし方

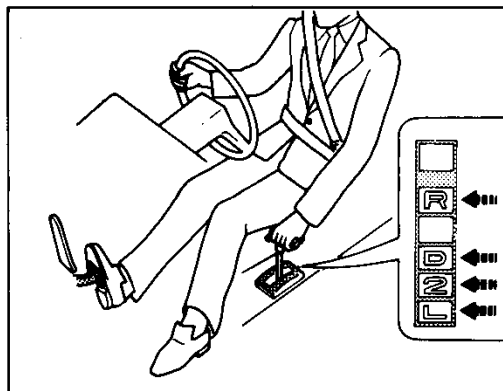
- ➡ そのまま動かします。
- ➡ チェンジ・レバー・ボタンを押して動かします。



▶ 運転のしかた

1. エンジン始動

エンジンの始動は、必ずブレーキ・ペダルを踏んだまま、あるいはパーキング(駐車)・ブレーキをかけたまま●で行います。(●でも始動できますが、安全のため●で行ってください。)



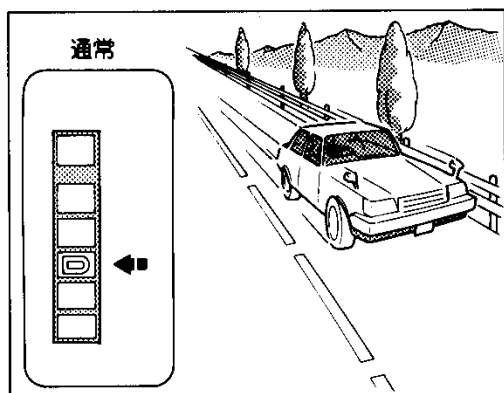
2. 発進

発進は右足でブレーキ・ペダルを踏んだまま、前進は①または②、後退は④にチェンジ・レバーを操作し、レバー位置を確認した後ブレーキを解除して、アクセル・ペダルを踏み発進します。



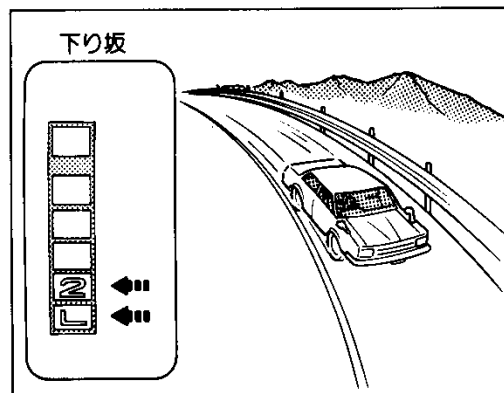
注意!

1. チェンジ・レバー操作は、①、②以外のレバー位置では車が走り出す状態になりますので、必ずブレーキ・ペダルを踏んだまま行ってください。
2. アクセル・ペダルを踏み込んだまま、チェンジ・レバーを操作しないでください。
3. またエンジン回転が高いときは、ブレーキ・ペダルを強く踏んだままチェンジ・レバーを操作してください。急発進の危険があります。



3. 走行

- 通常は①で発進すると、スピードにより自動的にギヤが切り替わります。
- マニュアル(ギヤ式)・トランスミッション車と同様、①から発進し、②から④へと手動の操作でも運転できます。

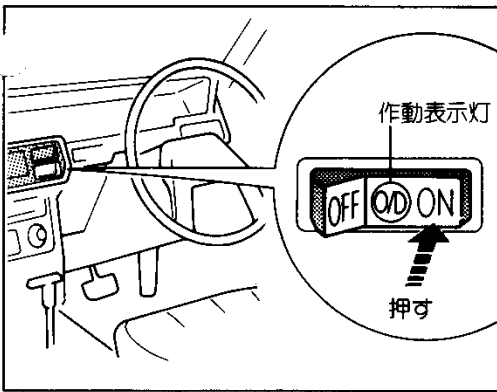


- 下り坂では路面状態やスピードに応じ②または①に入れてエンジン・ブレーキをかけます。
- 追い越しなど急加速したいときはアクセル・ペダルをいっぱい踏み込むと、チェンジ・レバーは④のままでもスピードにより自動的にギヤが切り替わって急加速できます。



注意!

1. 走行中④にいれることはやめてください。エンジン・ブレーキが効かなくなります。
2. 前進から後退、後退から前進にチェンジ・レバーを操作するときは、車が完全に止まってから、ブレーキ・ペダルを踏んだまま、確実に行ってください。
3. ④にいれるときは車が完全に止まってから、ブレーキ・ペダルを踏んだまま、確実に行ってください。
4. 長い坂道を下るときなどには、チェンジ・レバーを②または③にして車速に適したエンジン・ブレーキを使用してください。ただし、すべりやすい路面では、タイヤがスリップして危険ですので急激なエンジン・ブレーキをかけることはさけてください。



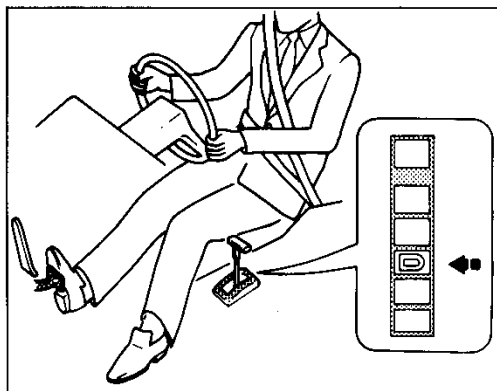
〔オーバードライブ・スイッチの用法〕

- 通常走行時はオーバードライブ・スイッチをONにしておいてください。4速オートマチック・トランスミッションとして働きます。
- オーバードライブが作動しているときは作動表示灯が点灯します。ただし、ターボは装置の作動に関係なく、ライト・スイッチをONにすると、作動表示灯が点灯します。
- オーバードライブ・スイッチをOFFにしておけば3速オートマチック・トランスミッションとして働きます。



ちょっと一言

1. エンジンの冷却水が冷えている場合には、オーバードライブ装置が作動しません。
2. 山道などの長い坂道を走行するときは、エンジン・ブレーキの効きをよくするため、スイッチをOFFにしておいてください。



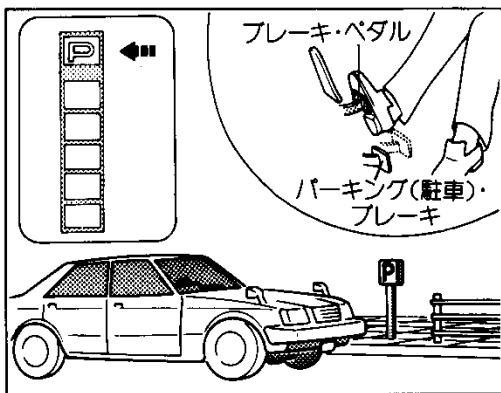
4. 一時停止

一時停止のときは、①、②、③、④のまま、ブレーキ・ペダルを確実に踏むか、そのつどNにしてブレーキ・ペダルを確実に踏みます。



注意!

1. 上り坂で停止するときには、アクセル・ペダルを踏みながら車を止めておくような運転はしないでブレーキを使用して確実に止めてください。
2. 一時停止のときは、必ずしも④にする必要はありません。



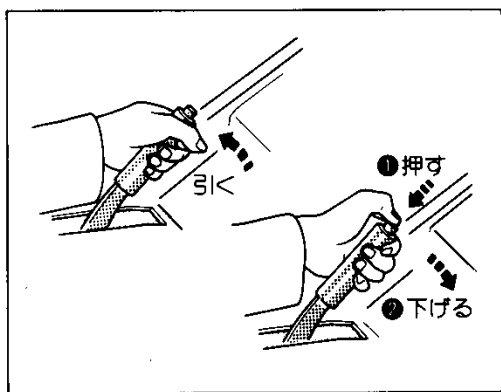
5. 駐停車

駐停車するときは車が完全に止まってから、ブレーキ・ペダルを踏んだままチェンジ・レバーを①にいて、パーキング(駐車)・ブレーキを確実にかけます。



注意!

1. 駐停車中は、むやみにエンジンを高回転にしないでください。
2. 駐停車中に①に確実にはいっていないと、外部からのショックなどで、車が動くおそれがあります。



パーキング(駐車)・ブレーキ

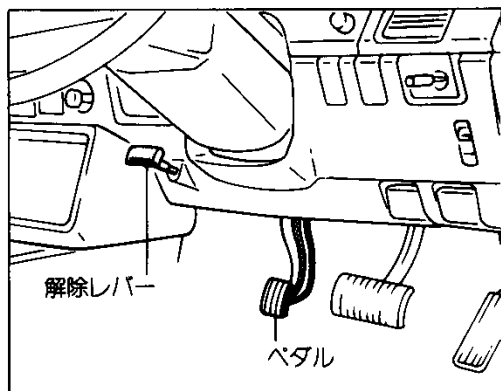


注意!

パーキング(駐車)・ブレーキをかけたまま走行すると、ブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。

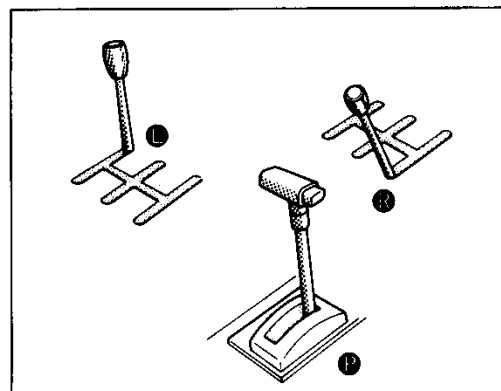
■マニュアル(ギヤ式)・トランスミッション車

1. 駐車するときは、ボタンを押さずにレバーをいっぱい引きまします。
2. もどすときはレバーを少し引き上げながら、①先端のボタンを押さえて、②もどします。



■オートマチック・トランスミッション車

1. 駐車するときは、ペダルを強くいっぱい踏み込みます。
2. もどすときは、解除レバーを引きます。



▶駐車のしかた

1. パーキング(駐車)・ブレーキをかけます。
2. チェンジ・レバーを、マニュアル(ギヤ式)・トランスミッション車は①ロー(1速)または②リバース(後退)、オートマチック・トランスミッション車は③の位置にします。



ちよっと一言

1. 坂道では輪止め(搭載工具に含まれています)を忘れず使用してください。
2. 急な坂道での駐車はしないでください。